

# 発掘された松本 2016

## 松本市遺跡発掘報告会



松本城下町跡本町



松本城三の丸跡土居尻



殿村遺跡



岡田田中遺跡

日 時：平成29年2月18日（土）

午前11時～午後4時

会 場：Mウイング 6階ホール

松本市教育委員会

# 発掘された松本 2016

～松本市遺跡発掘報告会～

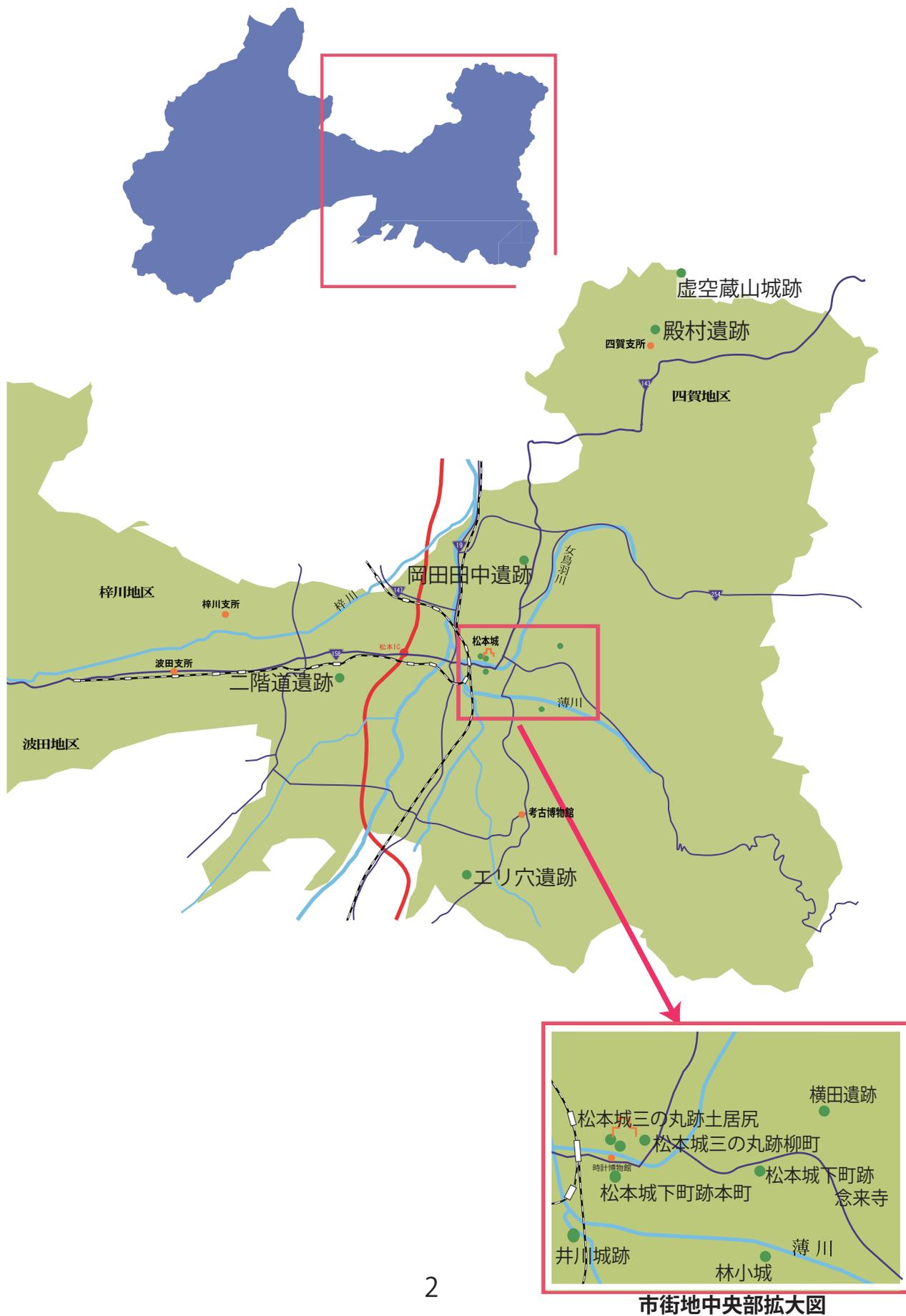
## 次 第

平成 29 年 2 月 18 日（土）

- |                 |                                |         |        |
|-----------------|--------------------------------|---------|--------|
| 11 : 00         | 開 会                            |         |        |
| 11 : 00～11 : 05 | 挨拶                             | 松本市教育長  | 赤羽 郁夫  |
| 11 : 05～11 : 15 | 趣旨説明・平成 28 年発掘調査の概要            | 担当 文化財課 | 直井 雅尚  |
| 11 : 15～11 : 35 | 事例報告① 岡田田中遺跡第 2 次発掘調査          | 担当 文化財課 | 小山 奈津実 |
| 11 : 35～11 : 50 | 事例報告② 松本城三の丸跡土居尻第 8・9・10 次発掘調査 | 担当 文化財課 | 鈴木 仁美  |
| 11 : 50～12 : 00 | 事例報告③ 横田遺跡第 3 次発掘調査            | 担当 文化財課 | 三村 竜一  |
| 12 : 00～12 : 05 | 質 問                            |         |        |
| 12 : 05～13 : 00 | 休 憩                            |         |        |
| 13 : 00～13 : 45 | 事例報告④ 松本城下町跡本町第 8 次発掘調査        | 担当 文化財課 | 原田 健司  |
| 13 : 45～14 : 30 | 事例報告⑤ 殿村遺跡と虚空蔵山城跡の発掘調査         | 担当 文化財課 | 竹原 学   |
| 14 : 30～14 : 40 | 休 憩                            |         |        |
| 14 : 40～15 : 30 | 特別報告 小笠原氏城跡の史跡指定と歴史文化基本構想      | 文化財課長   | 木下 守   |
| 15 : 30～15 : 40 | 質 問                            |         |        |
| 15 : 40         | 閉 会                            |         |        |

午後から発表者が展示解説を行います。（時計博物館 3 階企画展示室）

# 平成28年の発掘調査遺跡

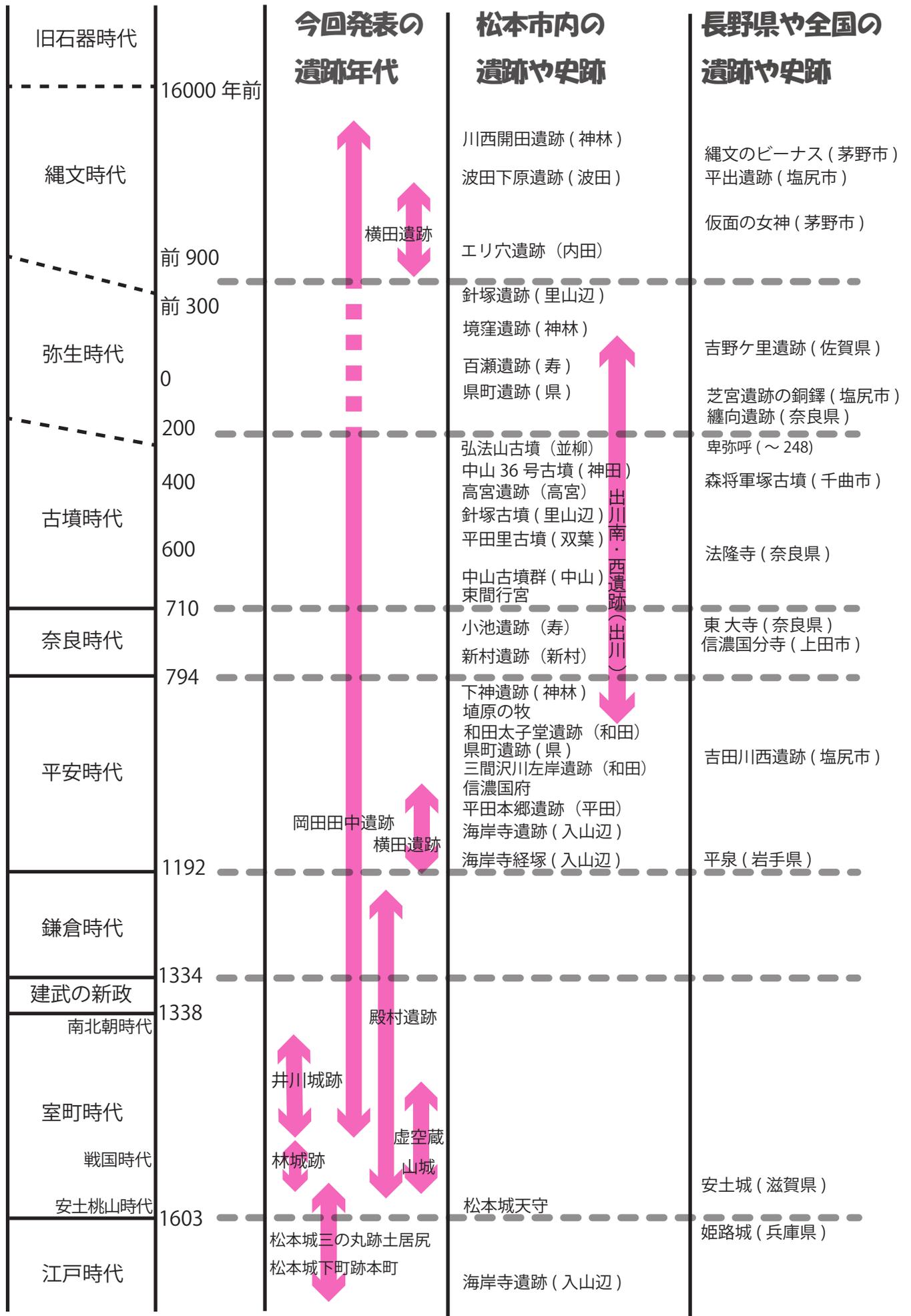


平成28年(2016年)埋蔵文化財発掘調査、報告書刊行一覧表

No.	遺跡・調査名	調査期間	調査面積	調査原因	時代	特徴・備考
1	マツモトジョウカマチアト 松本城下町跡 ネンライジ 念来寺第1次	H28.3.1 ～H28.3.31	118㎡	民間開発	江戸時代	社寺跡
2	イガフ ジョウシ 井川城址第3次	H28.5.9 ～H28.7.8	366㎡ (のべ面 積)	保育園建設	中世	城館跡
3	マツモトジョウカマチアトホンマチ 松本城下町跡本町第8次	H27.8.3 ～H28.9.13	4,177㎡ (I～V検 のべ面積)	民間開発	戦国 ～江戸時代	城下町(町屋・ 推定御使者宿)
4	トノムラ 殿村遺跡第8次	H28.10.15 ～H29.1	約170㎡	遺跡整備事業	中世	社寺跡
5	コクゾウサンジョウアト 虚空蔵山城跡第4次	H28.5.23 ～H28.10.21	約120㎡	遺跡整備事業	中世	中世遺構群
6	オカダタナカ 岡田田中遺跡第2次	H28.8.8 ～調査中	約4,700㎡	土地区画整理事業	中世か	
7	ヨコタ 横田遺跡第3次	H28.9.26 ～調査中	約4,300㎡	土地区画整理事業	縄文時代	
8	ニカイドウ 二階道遺跡第3次	H28.7.4 ～H28.7.13	約80㎡	民間開発	平安時代	
9	マツモトジョウサン マルアト 松本城三の丸跡 ヤナギマチ 柳町第4次	H28.10.17 ～H28.11.18	約150㎡ (I～II検 のべ面積)	非常用発電機 設置事業	江戸時代	城郭・武家屋敷
10	マツモトジョウサン マルアト 松本城三の丸跡 ドイジリ 土居尻第8次	H28.6.20 ～H8.10.24	521.2㎡	都市計画道路 (内環状北線) 建設事業	中世・戦国 ～江戸時代	城郭・武家屋敷
11	マツモトジョウサン マルアト 松本城三の丸跡 ドイジリ 土居尻第9次	H28.10.24 ～調査中	約300㎡	都市計画道路 (内環状北線) 建設事業	江戸時代	城郭・武家屋敷
12	マツモトジョウサン マルアト 松本城三の丸跡 ドイジリ 土居尻第10次	H28.10.24 ～調査中	約290㎡	松本城南・西外堀復 元事業及び都市計画 道路(内環状北線) 建設事業の関連	戦国 ～江戸時代	城郭・武家屋敷
13	ハヤシコジョウ 林小城	H28.10.26 ～H28.12.6	13.6㎡	遺跡整備事業	戦国時代	城郭・石垣
14	マツモトジョウホンマルキタノボリミナミシガキ 松本城本丸北外堀南石垣 カタモンヒガシガワモンダイシクツチョウサ 北門東側門台試掘調査	H28.12.5 ～H28.12.16	17.5㎡	石垣解体に先立つ 試掘調査	近世	北門櫓礎石跡
15	市内遺跡確認調査	通年	—	試掘・立会	各時代	試掘
16	カイガンジ 海岸寺遺跡 (報告書作成)	通年	—	砂防ダム建設	平安時代・近世	県埋蔵文化財 センター作成
17	オガサワラシジョウカンゲン 小笠原氏城館群 イガフジョウシ 井川城址試掘・第1次 ・第2次(報告書作成)	通年	—	遺跡整備事業	中世	城館跡
18	トノムラ 殿村遺跡第6次 (報告書作成)	通年	—	遺跡整備事業	中世	社寺跡
19	マツモトジョウサン マルアト 松本城三の丸跡を掘る (報告書作成)	通年	—		江戸時代	城郭・武家屋敷
20	アナ エリ穴遺跡 (整理作業)	通年	—		縄文時代	集落

# 開発工事等による市内遺跡試掘確認調査一覧（平成28年）

No.	事業者	所在地	原因事業	調査面積 (㎡)	遺跡との関係		遺構等の有無	検出遺構・遺物	備考	期間
1	民間会社	並柳2丁目	店舗	35.18	平畑遺跡	該当	あり	弥生遺物包含層	現状保存	1月19日-26日
2	民間会社	波田	宅地分譲	16.46	未確認地域		なし			2月4日
3	民間会社	笹賀	宅地分譲	5.88	下二子遺跡	該当	あり	縄文土器片	工事立会	2月12日
4	土地区画整理組合	岡田下岡田	区画整理	166.2	岡田田中遺跡	該当	あり	縄文土器片・灰釉陶器片等	記録保存	2月22日-3月15日
5	民間会社	旭2丁目	戸建住宅	34.98	松本城下町跡	該当	あり	近世土坑、陶磁器片	工事立会	3月4日
6	民間会社	波田	宅地分譲	12.44	未確認地域		なし			3月8日
7	個人	並柳1丁目	高齢者住宅	3.3	平畑遺跡	近接	なし			3月9日
8	松本市	島立	市道改良	12.54	新村・島立条里的遺構	該当	なし			3月11日
9	土地区画整理組合	横田3丁目他	区画整理	48.5	惣社・横田・大村塚田遺跡	該当	あり	縄文土器包含層	記録保存	3月15日-3月25日
10	松本市	寿北9丁目	樹木墓地整備	18.17	中山古墳群	該当	なし			4月18・19日
11	民間会社	梓川倭	戸建住宅	11.28	氷室東遺跡	該当	なし			4月21日
12	民間組合	岡田松岡	作業道	3	北部古窯址群	該当	なし			5月12・13日
13	民間会社	井川城3丁目	集合住宅	12	高宮遺跡	近接	なし			5月26日
14	個人	並柳4丁目	集合住宅他	23.75	山行法師遺跡	近接	なし			6月2日
15	社会福祉法人	今井	介護老人福祉施設	26.65	今井新田原遺跡	近接	あり	縄文土器片	記録保存	6月9・10日
16	民間会社	県1丁目	変電施設	9.9	県町遺跡	該当	あり	古墳時代土器片	工事立会	6月28・29日
17	民間会社	県1丁目	集合住宅	6.3	県町遺跡	該当	あり	古墳時代土器片	試掘継続	7月15・19日
18	個人	野溝西2丁目	貸家住宅	6.63	野溝遺跡	該当	なし			7月21日
19	個人	里山辺	戸建住宅他	16.65	宮北遺跡	該当	なし			7月25日
20	民間会社	波田	宅地分譲	13	未確認地域		なし			8月2日
21	長野県	県2丁目	高校更衣室棟	3	県町遺跡	該当	なし			8月8日
22	個人	双葉	集合住宅	3.5	出川南遺跡	該当	なし			8月18日
23	民間会社	梓川梓	戸建住宅	22.78	未確認地域		なし			8月23日
24	個人	県2丁目	集合住宅	4	県町遺跡	該当	なし			8月25日
25	個人	村井町西1丁目	集合住宅	5.06	小屋遺跡	該当	なし			9月8日
26	個人	梓川倭	店舗	4.62	未確認地域		なし			9月29日
27	民間会社	和田	鉄塔	4	二階道遺跡	近接	なし			10月7-11日
28	民間会社	奈川	鉄塔仮設道	10.4	一里塚遺跡	該当	なし			10月25・26日
29	個人	出川町	事務所付集合住宅	22.78	出川西遺跡	該当	あり	弥生・古墳時代遺物包含層	工事立会	11月24-28日
30	民間組合	里山辺	事務所	24.1	里山辺鎌田遺跡	該当	なし			11月25日
31	民間会社	県1丁目	集合住宅	7	県町遺跡	該当	あり	弥生・平安土器片	工事立会	11月28日
32	民間会社	波田	宅地分譲	14.82	未確認地域		なし			12月14日
33	民間会社	野溝木工2丁目	店舗	39.5	五輪遺跡	該当	なし			12月20日



## 岡田田中遺跡 第2次発掘調査

### 1 調査の概要

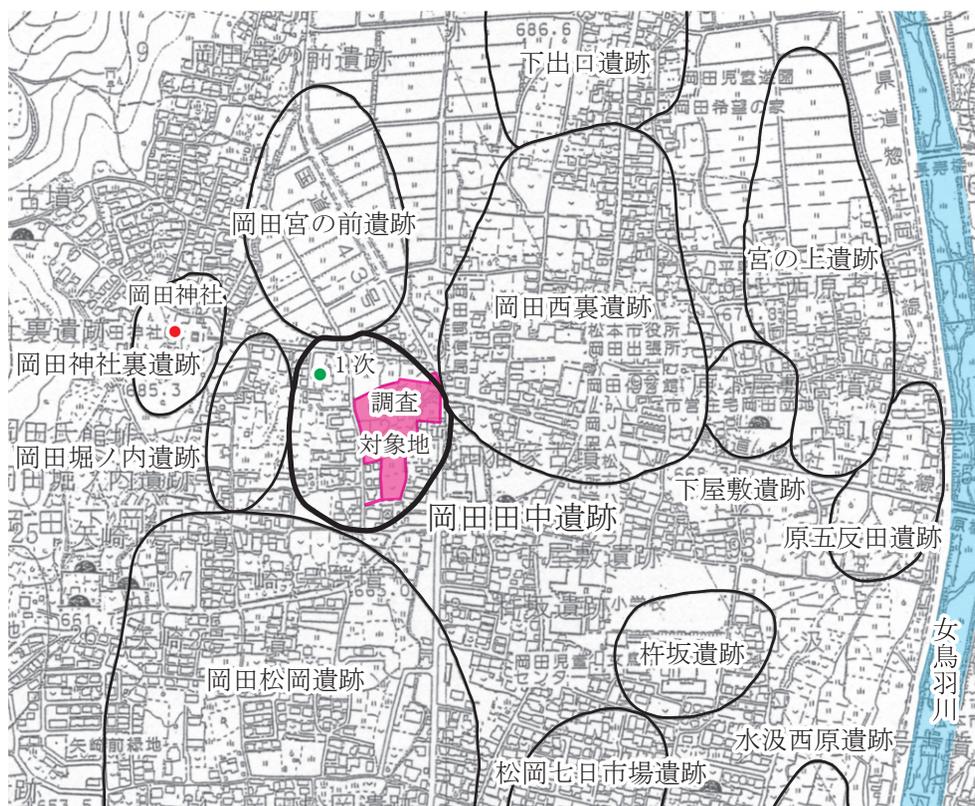
- (1) 遺跡の所在 松本市大字岡田下岡田 76 番ほか
- (2) 原因事業 松本市岡田東土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査
- (3) 調査期間 平成 28 年 8 月 8 日～継続中
- (4) 調査面積 約 4,700 m<sup>2</sup>

### 2 遺跡の概要

岡田田中遺跡は、松本市北部の岡田地区に位置する遺跡です。当遺跡の 200m ほど西には岡田神社が建っています。

当遺跡が位置する岡田地区は、縄文時代から中世にかけての遺跡が広がり、中でも縄文時代と平安時代の遺跡が多数見つかっています。平安時代には、東山道が地区内を通っていたと考えられており、交通の要衝でした。また、田溝池周辺には北部古窯址群（須恵器を生産した窯）があり、県下最大級の須恵器生産地帯でもありました。そして、土師器焼成坑や粘土貯蔵用土坑の存在から、地区内には土師器を生産していた集落もあったと推定されます。

当遺跡では、平成 7 年に行われた第 1 次調査で平安時代の竪穴住居跡が 4 軒見つかっています。調査はほとんど実施されていないため、不明な点が多い遺跡です。



調査位置図

### 3 今回の調査成果

(1) 遺構 土坑：133 基

(2) 遺物 縄文時代 <sup>いしさじ</sup>：石器（石鏃、石匙）

奈良・平安時代（古代）：土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、銭貨

鎌倉・室町時代（中世）：かわらけ、内耳鍋、山茶碗、古瀬戸、青磁、白磁、硯 <sup>すざり</sup>

#### ① 縄文時代



石鏃

狩猟で使用する弓矢の矢の先端に付けた石器。



石匙（いしさじ）

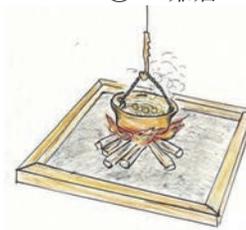
動物や植物を加工する際に使用するナイフ。

#### ② 奈良・平安時代（古代）



緑釉陶器の皿

#### ③ 鎌倉・室町時代（中世）



内耳鍋の想像図

出典：山梨県埋蔵文化財センター  
<https://www.pref.yamanashi.jp/smartphone/maizou-bnk/topics/201-300/0226.html>



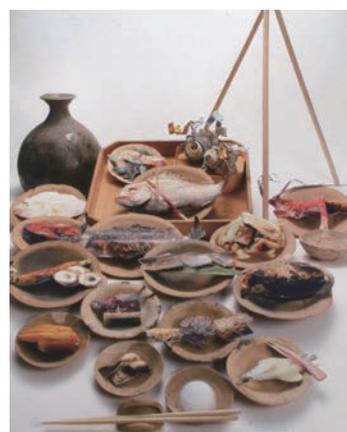
内耳鍋（取っ手部分）

提げ手を通す取っ手を内側に付けた煮炊き用の土器。



かわらけ

素焼きの土器。儀礼や祭祀などにも使用されました。



かわらけの使用例

出典：『山口市埋蔵文化財調査報告第102集  
大内氏館跡12』  
2011 山口市教育委員会



れんべんもん  
蓮弁文が  
見られる青磁碗

白磁の碗・皿（左）／青磁の碗・盤（右）

中国からの輸入品です。白磁片 11 点、青磁片 19 点と多数見つかりました。



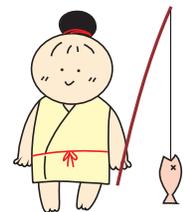
青磁盤（大皿）

内側の底には、二匹の魚が陽刻されています。（陽刻双魚文）



ようこくそうぎよもん  
《陽刻双魚文》

出典：吉岡康暢・門上秀寂『琉球出土陶磁社会史研究』  
2011 南真陽社



古瀬戸

瀬戸市を中心に生産された中世の陶磁器。盤、壺、水滴（硯に水を注ぐ器）、茶入などが出土しました。



硯（すずり）

石製の方形硯。中世になると日本でも生産されるようになります。

#### 4 調査のまとめ

- (1) 竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの建物跡の確認ができなかったことから、調査地は居住域ではなかったと思われます。
- (2) 縄文時代から中世までの遺物が出土した中で、中世の遺物が多く見られたことから、調査地付近には中世の遺構があった可能性があります。
- (3) 青磁片・白磁片が多数出土し、陽刻双魚文が施された青磁盤（威信財）も見られることから、調査地付近には有力者がいた可能性が考えられます。

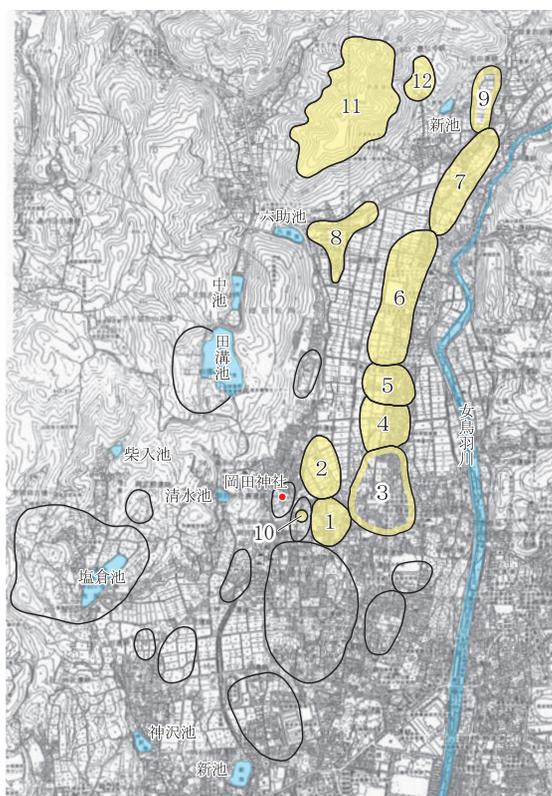
## 5 発掘調査から見た岡田地区(北部を中心に検討)

### (1) 中世以前

- ・縄文時代：遺跡は中期（約 5,000 年前）に繁栄し、後期（約 3,500 年前）には激減します。
  - ・弥生時代（約 2,000 年前）：遺跡は少ないです。
  - ・古墳時代末葉（7 世紀末）：岡田地区北部の塩辛遺跡に集落が作られます。
  - ・奈良時代（8 世紀代）：集落の範囲は南に広がり、集落の中心は塩辛遺跡から岡田町遺跡・岡田宮の前遺跡へ移ります。
  - ・平安時代前期：遺跡は 9 世紀前半に増加し、特に住居跡が多く確認された岡田町遺跡は集落の中心であったと思われます。9 世紀後半になると遺跡は衰退します。
- 集落の範囲は、時代が新しくなるにつれて南に広がり移っていったと考えられます。
- 古代の遺跡数の変化は、北部古窯址群の繁栄・衰退と一致します。須恵器生産に関連した人々が岡田地区に集落を作り、生産の衰退とともに集落も衰退したと思われます。

### (2) 中世以降（12 世紀末から）

#### 中世の遺構・遺物が確認できた遺跡



No.	遺跡名	出土遺構・遺物
1	岡田田中遺跡	土坑、検出面 かわらけ、内耳鍋、山茶碗、古瀬戸、青磁、白磁、硯
2	岡田宮の前遺跡	竪穴住居跡1軒 土師質土器（皿）、山茶碗
3	岡田西裏遺跡	表採 羽釜
4	下出口遺跡	墓2基、土坑 内耳鍋、青磁、銭貨
5	二反田遺跡	掘立柱建物跡1棟 -
6	岡田町遺跡	竪穴状遺構2軒、火葬墓6基、土坑、ピット、溝 内耳鍋、古瀬戸、銭貨
7	塩辛遺跡	ピット 銭貨
8	矢作遺跡	土坑 銭貨
9	堂田遺跡	検出面 内耳鍋、山茶碗
10	岡田氏館址	
11	伊深城址	
12	慶弘寺跡	

#### ① これまでの調査

- ・竪穴住居跡（岡田宮の前）や掘立柱建物跡（二反田）の建物跡、墓などを確認しました。
- ・遺物はどの遺跡からも少量しか出土しませんでした。

#### ② 今回の調査（岡田田中遺跡 2 次）

- ・建物跡を確認することはできませんでした。
- ・遺物は青磁片 19 点、白磁片 11 点など多数出土しました。

→ 岡田地区で中世の遺物が大量に見つかったのは、今回の調査が初めてです。建物跡などを確認することはできませんでしたが、これまでの調査から、今回の調査地よりも西に有力者がいた可能性が考えられます。

# 松本城三の丸跡土居尻 第8・9・10次発掘調査

## 1 調査の概要

調査名	所在	調査の目的	期間	調査面積
第8次	大手3丁目7-11ほか	内環状北線整備に係る事業	平成28年6月20日 ～10月24日	521.228㎡
第9次	大手2丁目8-12ほか	内環状北線整備に係る事業	平成28年10月24 日～継続中	対象1060㎡
第10次	大手3丁目7-21ほか	松本城南・西外堀復元及び内環状北線整備に係る事業	平成28年10月24 日～継続中	対象1000㎡

## 2 調査地の概要

松本城の城郭は、本丸・二の丸・三の丸とそれらを囲む三重の水堀で構成されています。藩の政庁や藩主の生活の場であった本丸・二の丸に対し、三の丸には中級～上級武士の屋敷がありました。三の丸土居尻では、これまで7度の発掘調査が行われ、茶道具などの高級陶器や輸入磁器、刀装具、また礎石を用いた屋敷の痕跡が見つかるなど、武家屋敷ならではの調査成果が得られています。

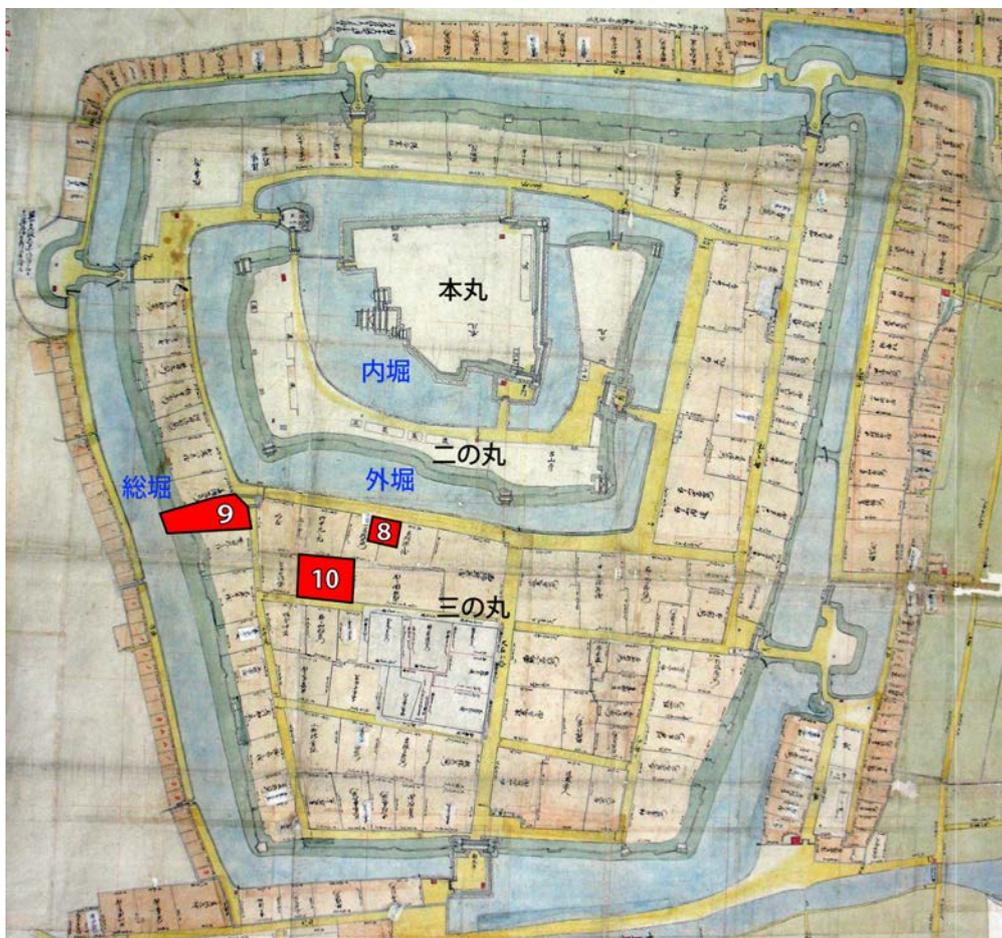


図1 絵図でみる8・9・10次調査地の位置  
『享保十三年秋改松本城下図』 1728年 松本城管理事務所所蔵

### 3 調査の成果

#### <第8次調査>



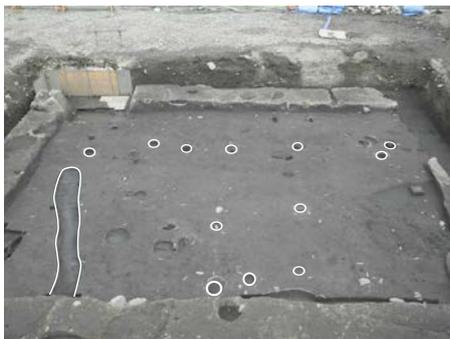
江戸時代後期～幕末



江戸時代中期



江戸時代前期



中世～戦国期



中世頃か

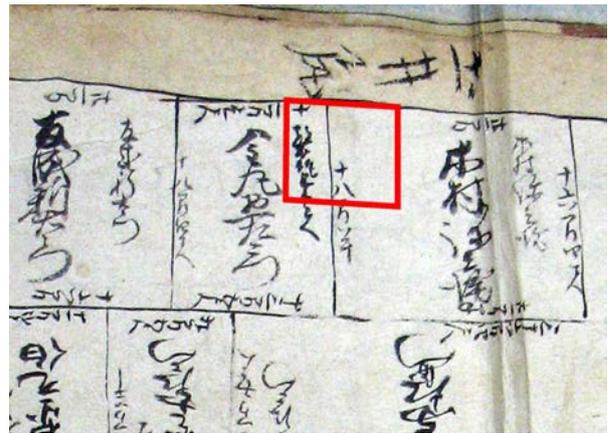


図2 両屋敷にまたがる調査地（推定）

『文化文政松本藩屋敷割図』 1804～1831年頃  
松本市立博物館所蔵

第8次調査地は、江戸後期の絵図によれば、「金丸家」と「木村家」の両屋敷にまたがっていることがわかります。今回の調査では、江戸時代の生活面を3つ、中世の面を2つ確認しました。

江戸時代の面からは、絵図のとおり南北に延びる敷地境と考えられる溝跡を発見しました。

そして、下層の中世の面からは、松本城内として屋敷割される以前の掘立柱建物跡を発見しました。あわせて、この調査面から、中世の頃に流通していた陶磁器が出土し、今にみる松本城とは違った姿、築城される前の状況を考えるうえで、貴重な調査となりました。

- ◆ 屋敷境の溝
- ◆ 建物跡
- ◇ 溝・掘立柱建物跡



写真1 志野（しの）焼の皿



写真2 遺物の出土状況

写真3 第5面から出土した常滑産の焼き物

<第9次調査>

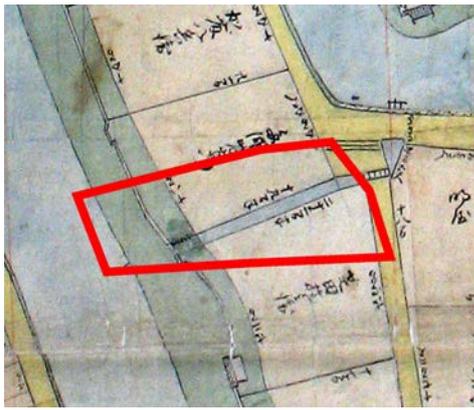


図3 『享保十三年秋改松本城下図』 左図を拡大 調査地(推定)と水路  
第9次調査地は土居尻の西端に位置し、江戸中期の絵図によると、「多湖」家と「芝(柴)田」家の両屋敷にまたがっていることがわかります。そして屋敷境には、水路が描かれています。

写真4 出土した石列

これは、外堀と総堀をつなぐ配水施設で、今回、それに関わると考えられる東西につづく石列が出土しました。こうした堀をつなぐ水路跡は、全国的にみても確認された例が少なく、今後も周辺の遺構の調査を進めるとともに、その成果が期待されます。



写真5 見学会のようす

<第10次調査>



図4 調査中の西半部

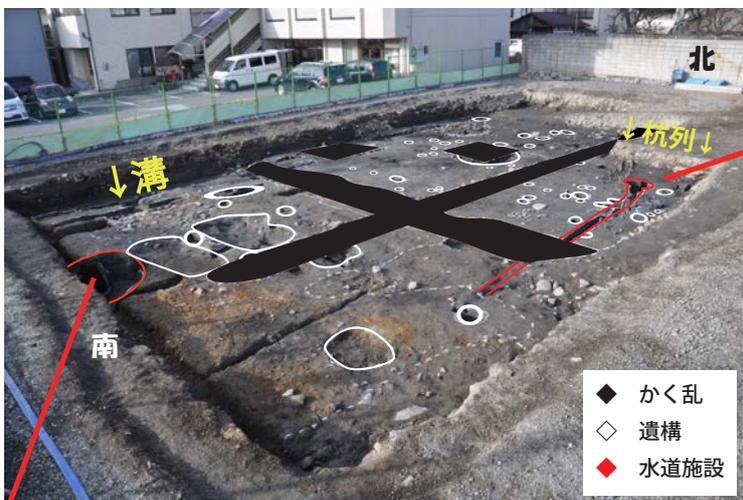


写真7 第1面全景



写真8 水道施設



写真6 礎石



写真9 茶臼



写真10 桶を重ねた井戸

第10次調査地は、絵図によると、江戸中期には「斎藤家」と「上原家」の屋敷がありました。調査中の西半部では、江戸時代を通して盛土が少なく、生活面の削平と整地を繰り返して行っていたことがわかりました。そのため、江戸時代初期～幕末以降まで、出土遺構や遺物の年代はさまざまです。

水道施設についても、江戸後期のものと江戸中期とされる桶を重ねた井戸が同じ面から出土しています。

来年度からは、東半部の調査を行う予定です。土居尻の屋敷の変遷過程を知る上でも、今後の調査が期待されます。

## 事例報告③ 横田遺跡第3次発掘調査

### 1 遺跡の環境について

- (1) 地理的環境
- (2) 歴史的環境
  - ア 縄文時代
  - イ 弥生時代・古墳時代
  - ウ 奈良・平安時代

### 2 調査の中間概要

- (1) 位置 松本市横田3丁目
- (2) 面積 1,800 m<sup>2</sup>
- (3) 期間 平成28年9月26日～（現在調査中）
- (4) 目的 遺跡の範囲、時代、性格などの解明
- (5) 時代 縄文時代、古代
- (6) 遺構 竪穴状遺構、土坑・ピット、溝（洪水の痕跡）
- (7) 遺物 縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石器、銭貨

### 3 まとめ

#### (1) これまでの調査成果

##### ア 範囲

- ・住居址等は確認されておらず、これまでの範囲の裏付ける結果といえる。

##### イ 時代

- ・縄文時代中期から晩期が中心と考えられる。
- ・古代の遺物が遺構外から出土していることから、周辺に集落が存在する可能性が高い。

##### ウ 性格

- ・土坑・ピット等が散発的に分布しており、集落遺跡の縁辺部（居住域外）の遺構のあり方を示している。

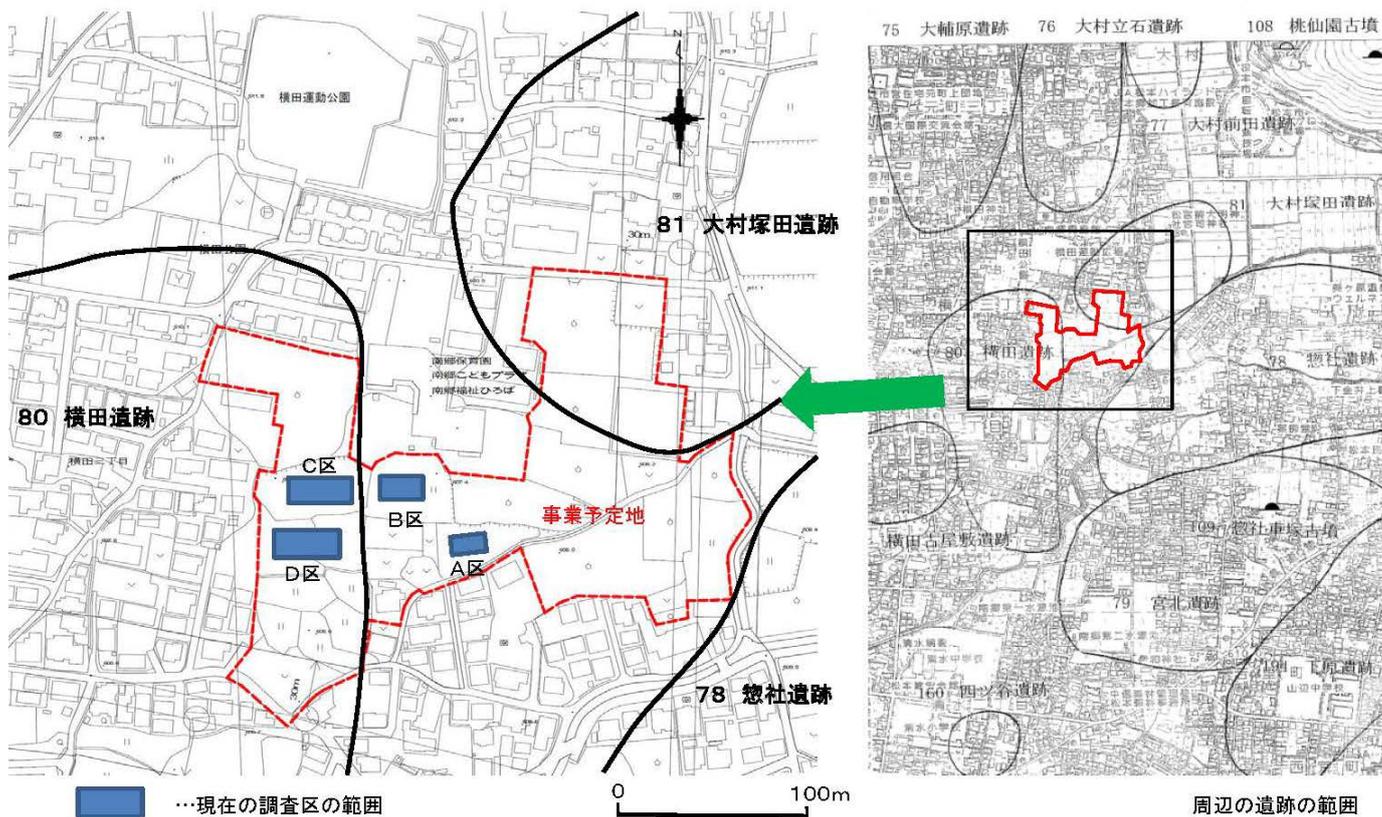
##### エ その他

- ・治水がされるようになるまでは、北東方向からの洪水性氾濫が度々起きていた。
- ・地盤は比較的軟弱で、氾濫による地盤の流失や堆積が繰り返し起きていた。
- ・一帯は、大規模開発がされる以前は、起伏のある地形であったと考えられる。

#### (2) 今後の調査

今回の事業に関わる横田遺跡としての発掘調査は3月で終了するが、事業地の北側では、来年度も調査を実施する。今回の遺構の分布状況や今回の調査地との間の段差があることから、調査名は、大村塚田遺跡第3次調査とする。同遺跡では平成2年度に縄文時代中期後半の大規模集落を調査し、地域の歴史を物語る資料を得ている。27年の時を隔てた調査となるが、集落の縁辺部の遺構のあり方を解明したい。

# 横田遺跡第3次調査概要



横田遺跡の位置



B区 完掘状況



34土 検出状況



72土 半裁状況